

「こころの温度を上げる」



みんなの願い「よろこびの木」



風鈴もソーシャルディスタンス



一人よりみんなで

全校児童が、自分の目標や学校がこうなったらいいなという願いを書いて「よろこびの木」を完成させました。あおば学級の子どもたちは、つくった風鈴を1m以上間隔を空けて設置し、ソーシャルディスタンスを示してくれています。2年生や3年生は、休業中に折り紙で思い思いに作品をつくり、学校が再開した日に壁に飾りました。見事な共同作品で、みんなで力を合わせることのよさを味わうことができました。

4～6年生は、休業中に新聞をつくり興味・関心のあることを友達に伝える取り組みを行っています。アンケートやインタビューなどをして、対象に深く関わりまとめる子どもたちもいてミニ新聞記者のようです。多くの気づきや発見が、今後の学校での学習にも生かされることを期待しています。

検温ボランティアへの協力ありがとうございます

毎朝、検温表に記録してマスクをして登校していただいておりますが、どうしても忘れる子どもたちがいます。「全員ができて当たり前」を前提にしますと、見過ごしやチェック漏れが生じます。感染者が校内に入ってしまう子どもたちと接触してしまう前に確実に止めなければなりません。かくいう私も、ついマスクをしないまま家を出ることがありました。「人は間違いや失敗をするものである」ということを前提に防御の仕組みを整える必要があるようです。朝の忙しい時間帯にご協力いただくボランティアの皆様へ心より感謝申し上げます。福島はレベル1とはいえ、感染のリスクがゼロではない仕事と思っています。コロナとの戦いは長期戦を覚悟して対応していきたいと思います。無理をせず、参加できないときは遠慮なく申し出てください。

ボランティアの皆さん：古川靖子さん、渡部真由美さん、ガラール アハマドさん、山岸妙子さん、高橋りつ子さん、角田律子さん、伊東正嗣さん、榊原真紀さん、大橋聡美さん、羽田明美さん

四小のコロナ対策は万全か？

学校が行わなければならない対策・対応がきちんとなされているかを、外部の目でご確認いただき、安心していただこうと考えています。7月に学校評議員会を開催し、授業の参観等を通して確認いただくとともに、本年度のPTA役員が決定した段階で最初の仕事として校内を見回っていただこうと考えております。本校は、少人数のためソーシャルディスタンスは確保しやすいのですが、下校後の校舎内の除菌作業や清掃など、教員だけでは手が回らないのも事実です。今後さらに、保護者や地域の皆様にお手伝いをいただくようお願いしたいと考えています。



ソーシャルディスタンスで交通教室 6/12